

2021年3月30日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

理光フロートテクノロジー株式会社に投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社(本社 東京都港区西新橋、取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」)が管理運営する、ニューホライズン3号投資事業有限責任組合(以下総称して「弊社」)は本日付で、理光フロートテクノロジー株式会社(本社 大阪府富田林市、代表取締役梅津 卓式、以下「RFT」)への投資を実行いたしましたのでお知らせします。

RFTは1965年に理光産業株式会社として創業し、1967年より工業用フロートの製造を開始しました。世界で唯一の工業用フロート専門メーカーであるRFTの製造するフロート・レベルスイッチはその素材や職人の持つスキルという点で独自技術を確立しており、結果として耐久性・比重設定の幅など、求められる性能を高次元でバランスすることに成功しています。これにより世界中の顧客と取引を行っており、経済産業省の「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」のうちの1社に選ばれております。

RFTはフロート・レベルスイッチを製造するメーカーの中でも特に幅広い分野に顧客をもち、いづれの市場についても安定または継続的な拡大が見込まれます。今後の生産性向上などからさらなる成長が期待できると判断し、今回の投資に至りました。さらに、RFTのような世界に誇る日本の中小企業の事業承継支援ができること、また、RFTは従業員のライフスタイルに合わせた多様な働き方の推進や地域雇用の創出にも注力しており、本件投資の実行は弊社の責任投資原則(ESGポリシー)に照らしても社会的意義があるものと考えております。

弊社はガバナンスの強化・生産性向上の支援等を通して、RFTの成長を加速させていくバリューアップ戦略を進めて参ります。

なお、新しい経営体制として、現常務取締役である尾形隆氏が代表取締役へ就任し、弊社から取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 19 年超の実績(独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超)を誇る。現在は、NHC として 3 本目、創業から 9 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン(主運用責任者)をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、ローカルフォリオ、かがやくコスメ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業、エスエーティ、リードプラスなど、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(IFC)竹江、高杉 連絡先:090-5560-6309